

整理番号 2025M-040
 補助事業名 2025年度 オープンイノベーション手法によるコーディネータ
 及び新事業創出 補助事業
 補助事業者名 一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

オープンイノベーション手法により、中堅・中小企業を技術課題発掘から事業化まで伴走支援で「イノベーションを創造」し、大学シーズの社会実装の場、次代の製造業を担う人材育成の場、取組まざるを得ない分野（GX等）の学びの場を提供し「新事業の創出」を支援することで、「課題解決先導地域 九州」の実現を目指す。

(2) 実施内容及び成果

<https://www.koic.or.jp/wp-content/uploads/2026/04/2025hojyoyjigyoyou.pdf>

事業全体を統括・管理する位置づけとして「事業推進委員会」「コーディネータ会議」を設置し、コーディネータ活動やブラッシュアップ研究会による技術開発支援を実施してきた。活動状況の把握、対応方法の協議、連携強化及び活性化等を行い、効果的な活動を図ることができた。

○事業推進委員会

事業推進委員会を2回（6/18、2/19）開催

- ・第1回事業推進委員会は、機械工業振興チャレンジ研究調査(公募)の審査を行い3件採択した。さらに「2023年度自己評価Ⅱ」の審議・承認した。
- ・第2回事業推進委員会は、機械工業振興チャレンジ研究調査(公募)の研究調査報告会を行い、評価及び事業化に向けたアドバイスをを行った。さらに「2025年度自己評価Ⅰ」を審議・承認し、「2026年度JKA補助事業申請概要」を報告した。



【事業推進委員会開催風景】

○コーディネータ会議

コーディネータ会議を3回(5/23、10/28、2/26)開催

- ・第1回は、今年度の事業概要、活動目標などを議題に会議を実施
- ・第2回は、今年度の活動状況、対応方法、JKA申請内容などを議題に会議を実施
- ・第3回は、今年度の活動状況、ブラッシュアップ研究会継続有無、自己評価Iなどを議題に実施

会議開催により、技術開発支援の状況評価・フィードバック及び事務局とコーディネータ間、コーディネータ同士の連携強化が図れ、効果的なコーディネート活動を図ることができた。



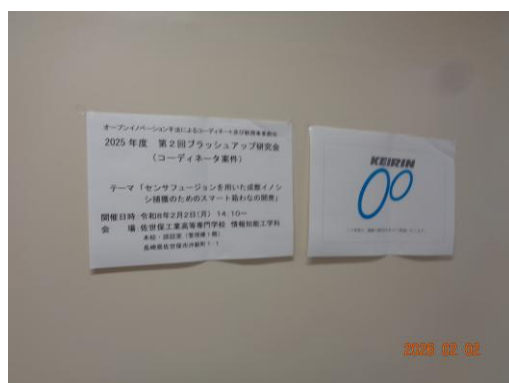
【コーディネータ会議開催風景】

○コーディネート活動

コーディネート活動により発掘したニーズのマッチング件数は、目標7件に対して9件と目標を達成した。また、ブラッシュアップ研究会の新規立上件数は、目標10件に対して9件と目標に及ばなかったが、ブラッシュアップ研究会の開催回数は目標30回に対して45回開催と目標を大きく達成した。



【ニーズ・シーズ・マッチング調査風景】



【ブラッシュアップ研究会開催風景】

○セミナー・JKA補助事業成果発表会

- ・九州ネクストリーダー塾は、1期、2期各3回述べ6日間開催。生成AIの活用方法や活用戦略をテーマにした内容を開催した。
- ・カーボンニュートラル普及啓発セミナーは、長崎、大分の2箇所各2回開催。GX・カーボンニュートラルをテーマにした内容を開催した。
- ・九州・大学発ベンチャー振興実践会議は、大学のシーズ、企業のニーズ、起業家教育の推進・実施状況をテーマにした内容を開催した。
- ・オープン&クローズ戦略セミナーは、オープン&クローズ戦略や標準化活動の具体的な取り組み事例等をテーマにした内容を開催した。
- ・JKA補助事業成果発表会は、JKA補助事業内で実施している機械工業振興チャレンジ研究調査委託機関による研究成果を広く紹介した。

セミナー・成果発表会の目標である 参加人数500名、満足度80点に対して、参加人数705名、満足度84点と目標を達成した。



【セミナー開催風景 (九州ネクストリーダー塾)】



【セミナー開催風景（カーボンニュートラル普及啓発ワークショップ）】



【セミナー開催風景（九州・大学発ベンチャー振興実践会議）】



【セミナー開催風景（オープン&クローズ戦略セミナー）】



【JKA補助事業成果発表会開催風景】

・ 展示会出展

JKA 補助事業を活用し、研究開発・事業化を支援している当財団の支援事例および、九州域内中堅・中小企業の技術や製品等を PR し、販路開拓や業務提携等事業展開のチャンスを広げるためモノづくりフェア 2025(マリンメッセ福岡 2025. 10. 15~17、来場者 23, 989 人)に出展し、販路開拓や業務提携等事業展開のチャンスを広げるための支援を行うことができた。



【モノづくりフェア2025出展風景】

・ 総括

事業の実施結果については、下表のとおりブラッシュアップ研究会新規立上件数、事業化件数は目標値を下回っているが、他の項目は目標を達成。コーディネート活動から事業化までのプロセスにおいて大きな成果を出しており、全体として高いレベルの事業であった。更に過去に支援した企業1社が「第10回ものづくり日本大賞」九州経済産業局長賞を受賞した。

九州域内の中堅・中小企業に対し、県境をまたぐ広域的な支援を展開し、各支援機関のハブとして連携し、コーディネート活動、研究会開催等から事業化までを一貫して支援しており、この取組は多くの中堅・中小企業から高く評価されている。

項 目		目 値	実 績	
達 成 目 標	機械工業振興チャレンジ研究調査(公募)採択数	3件	3件	
	マッチング数	7件	9件	
	ブラッシュアップ研究会新規立上 件数・開催数	新規立上件数	10件	9件
		開催回数	30回	45回
	展示会出展企業数	4社	4社	
	セミナー等総参加者数	500名	705名	
	国プロ等応募件数	5件	9件	
	事業化件数	3件	1件	
	セミナー等参加者の満足度	80%	84%	
情 報 発 信	コーディネート活動等報告書	1回	1回	
	公募事業成果報告書	1回	1回	
	コーディネート活動報告書	1回	1回	
	セミナー・会議等開催報告	5回	6回	
	展示会出展	1回	1回	
	成果報告会	1回	1回	
	ニーズ調査等で周知	60回	93回	
	ホームページ掲載	30回	65回	
メルマガ配信	20回	21回		

2 補助事業に係る成果物

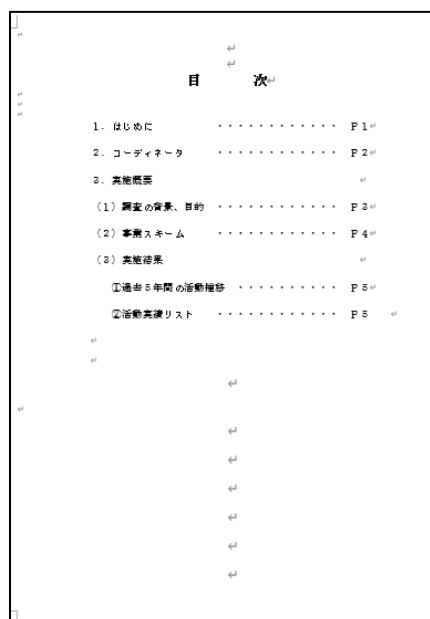
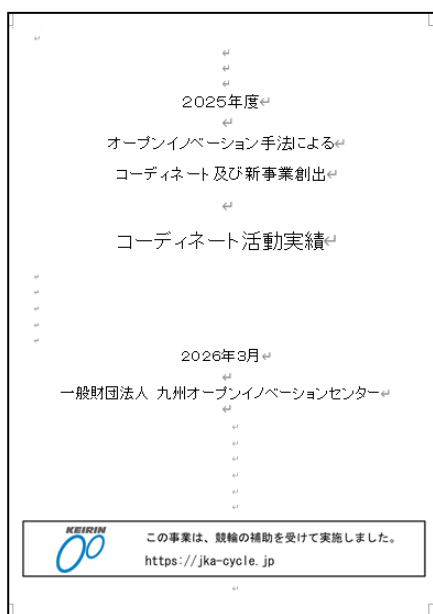
(1) 補助事業により作成したもの

- ・ 2025年度オープンイノベーション手法によるコーディネート及び新事業創出
2025年度コーディネータ活動 《パンフレット》



- ・ 2025年度オープンイノベーション手法によるコーディネート及び新事業創出
コーディネート活動実績 《Webデータ》

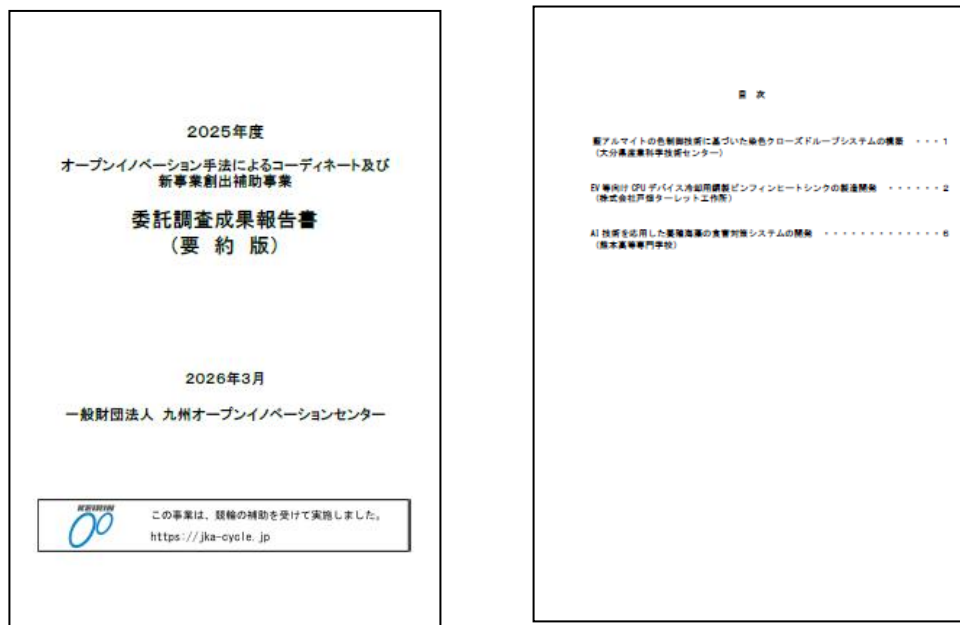
(<https://www.koic.or.jp/wp-content/uploads/2026/04/2025matching-chosa.pdf>)



- ・ 2025年度オープンイノベーション手法によるコーディネート及び新事業創出
委託調査成果報告書(要約版)

《公開用》

(<https://www.koic.or.jp/wp-content/uploads/2026/04/2025itaku-chosa.pdf>)



- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

3 予想される事業実施効果

これまでのコーディネート活動において蓄積してきた、九州域内の中小企業のコア技術等をデータベース化したコーディネータ活動情報管理システムのデータを有効に活用し事業化支援を行った企業が、次のステップとして、国プロ等へ9件提案し8件が採択となっており、着実に事業化の芽を育てていると言える。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
(キューウシュウオープンイノベーションセンター)
住所： 〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目13番24号
E-mail： info@koic.or.jp
URL： <https://www.koic.or.jp>